

同時資料提供
大阪科学・大学記者クラブ
大阪教育記者クラブ
南大阪記者クラブ
関西レジャー記者クラブ



Tel : 06-6697-6222

新春ミニ展示「午年展」

～ウマにちなんだいろいろな標本～

を開催します

2026 年（令和 8 年）は「午年（ウマどし）」。

大阪市立自然史博物館では、令和 8 年 1 月 6 日（火）～1 月 25 日（日）の間、本館出入口付近の展示コーナーにて、干支にちなんだ毎年恒例の**新春ミニ展示「午年展」**を開催します。「午年」に関連して、「ウマ」「駒(コマ)（子馬や若い馬を指す言葉）」にまつわる様々な標本を展示します。

■開催概要

1. 名 称：新春ミニ展示「午年展」～ウマにちなんだいろいろな標本～
2. 会 期：令和 8 年 1 月 6 日（火）～1 月 25 日（日）
3. 開館時間：午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分（入館は午後 4 時まで）
4. 休 館 日：1 月 13 日（火）、19 日（月）
5. 場 所：大阪市立自然史博物館 本館 1 階 出入口付近
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23
TEL:06-6697-6221（代表） FAX:06-6697-6225
地下鉄 Osaka Metro「長居」駅下車 3 号出口・東へ 800m
JR 阪和線「長居」駅下車東出口・東へ 1,000m
ホームページ： <https://www.omnh.jp/>
6. 観 覧 料：常設展入館料（大人 300 円、高大生 200 円）
※中学生以下、障がい者手帳など持参者（介護者 1 名を含む）、大阪市内在住の 65 歳以上の方は無料（要証明）。30 人以上の団体割引あり。

■主な展示

※これらの写真は広報目的でのみご利用いただけます。ご希望の方は、下記問い合わせ先までお知らせください。

<ウマノオバチ>

漢字で書くと「馬尾蜂」。馬の尾のように長い産卵管を持つことからこの名前がついたようです。コマユバチ科の寄生バチで成虫は5月に出現します。長い産卵管を使って、クリなどの広葉樹の中のミヤマカミキリの蛹に卵を産み付けると考えられています。



<シマウマ>

草食動物らしく、目が横向きについており、臼歯が発達しています。しかし、ウシ、ヤギ、シカといった偶蹄類と違って、奇蹄類のシマウマには上顎に切歯（つまり上の前歯）があります。オスには短い犬歯もあります。ちなみに漢字で書くと「縞馬」または「斑馬」となるようです。





<ウマ（化石）>

このウマの頭骨は、約 60 年前に実施された地下鉄 4 号線（現・Osaka Metro 長堀鶴見緑地線）の森ノ宮駅の工事中に地下約 5m の地層から発見されました。この周辺の地下約 10m の地層からは、ウマの肢や腰の骨も見つかっています。正確な地質年代は分かっていませんが、それらの地層が堆積した当時の日本には、既にウマが生息していたことを教えてくれます。漢字はもちろん「馬」です。



<コマクサ>

コマクサはケシ科の多年草で、日本を代表する高山植物です。漢字では「駒草」と書き、細長い花が馬の顔に似ていることから名づけられました。ほかの植物が育ちにくい高山の砂礫地に生えますが、砂礫が動きにくい深い所に根茎を張ることでこのような過酷な環境でも生育できます。展示した標本を見ると、根茎から長く伸びる葉柄や花柄が確認でき、コマクサに特徴的な生育特性が読み取れます。

■広報に関する問合せ

大阪市立自然史博物館 総務課 広報担当
TEL : 06-6697-6222 FAX : 06-6697-6225
E-mail : shizenshikoho@ocm.osaka